

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出

30項目 486,100

<総合企画局>

1 国立京都国際会館の多目的ホールにおける「京都らしい設え」の実施 10,000

日本文化の発信と本市の伝統産業の振興を図るため、国が30年度にしゅん工を予定している国立京都国際会館の多目的ホールに、公益財団法人国立京都国際会館と連携して、京都ならではの付加価値を加える「京都らしい設え」を行う。

28年度は、京都の伝統産業、伝統工芸等をいかした調度・備品の制作に向け、仕様等の具体的な検討を行う。

[総合企画局 総合政策室 TEL 222-3033]

<産業観光局>

2 首都圏を中心とした京都情報の発信強化事業 10,000

伝統産業や観光などの京都情報を発信する京都館（東京）の移転・リニューアルオープン（29年度予定）の事業プロジェクトに着手するとともに、新京都館で実施する新たな魅力発信モデル事業を行う。

[産業観光局 産業政策課 TEL 222-3325]

[産業観光局 産業総務課 TEL 222-3333]

① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出

[単位：千円]

3 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト（仮称） 21,500

（一部に本プロジェクトを活用する政策的新規・充実事業の活用額4,700を重複計上）

国の「戦略産業雇用創造プロジェクト」を活用して25年度から27年度までの3箇年事業として推進してきた、「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」について、28年度以降も引き続き国の交付金を活用して「オール京都体制」の下で産業政策と雇用政策を一体的に実施する取組を推進し、京都経済の活性化と安定雇用の創出を促していく。

「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト（仮称）」の全体像

事業期間：28～30年度

雇用創出目標：3,000人（各年度1,000人）

事業費負担割合：国負担8割，地域負担2割（市府で分担）

【28年度の実施内容】

（市実施事業）	市予算額	（総事業費）
・「全員参加型」イノベーション創造支援事業	3,836	(129,606)
・高度分析試験器利用促進・人財育成事業	3,720	(18,600)
・京都コンテンツ産業基盤の構築	4,300	(21,500)
・若手職人等就業支援事業	2,807	(28,070)
・京都市未来創生企業成長プロジェクト（再掲）	※1,400	(7,000)
・健康長寿産業創出支援事業（再掲）	※2,000	(9,700)
・グリーンイノベーション創出総合支援事業の充実（再掲）	※1,300	(6,500)
・統括マネジメント事業	2,137	(63,607)
予算額合計	21,500	(284,583)

※事業の一部について本プロジェクトを活用して実施

[産業観光局 産業政策課 TEL 222-3325]

4 第3期京都市伝統産業活性化推進計画（仮称）の策定（補正） 6,000

京都の伝統産業を取り巻く状況や今日的な課題を踏まえ、これまでの取組成果や業界の現状分析、新たな市場の構築に向けたマーケティング調査を行い、京都市伝統産業活性化推進条例に基づく第3期計画を策定する。

計画期間 29年度～32年度（4年間）

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

5 京もの海外進出支援事業の充実(補正) 5,000

海外進出のノウハウや資金力に乏しい伝統産業事業者に対し、海外市場に精通したコーディネーターやアドバイザーの指導の下、新商品開発から販路拡大までの一貫した支援を実施する。

新たな取組として、30年度のパリ市との姉妹都市提携60周年も見据え、パリ市の国際見本市や展示商談会終了後も継続的に展示販売や営業活動を担う現地拠点との連携を強化するなど更なる販路開拓を図る。

全体事業費 34百万円

(政策枠(補正) 5百万円, 政策枠以外(補正) 29百万円)

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

6 京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業(補正) 22,600

観光との連携やビジネスの視点を取り入れながら、若手職人等による異業種交流の促進や工房訪問事業の展開など、伝統産業の更なる活性化を推進する。

実施内容

- ・ 若手職人等が集う異業種交流会等の実施
- ・ ふれあい館設立20周年記念事業の実施
- ・ 工房訪問事業の本格展開 など

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

7 中小企業等チャレンジ支援事業 19,000

中小企業等で構成する業界団体の主体的な取組に対し、「課題解決手法調査(仮称)」及び「ビジネスモデル試行実施事業(仮称)」により支援を行うことで、当該業界団体を構成する中小企業の活性化を図る。

[産業観光局 中小企業振興課 TEL 222-3329]

8 中小企業振興会議(仮称)の創設 3,000

中小企業振興のため、中小企業経営者等による「中小企業振興会議(仮称)」を創設し、条例による手法等も含めて、実効性のある振興策を検討する。

[産業観光局 中小企業振興課 TEL 222-3329]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

9 京都市未来創生企業成長プロジェクト 17,900

「オスカー認定企業」「目利き委員会Aランク認定企業」といった優れた中小企業・ベンチャー企業に対して、研究開発への補助や展示会への出展支援、販路開拓サポートなど、起業から事業展開まで一貫した支援を実施する。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

10 「知恵産業の森」京都創生事業 28,000

京都創生につながる、中小企業の強みを生かした新たな取組を支援することで「知恵産業」の創出を促進し、地域の雇用を支える多様な産業群を集積させる「知恵産業の森」の形成を図る。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

11 「京都知恵産業フェア」の開催 10,000

独創性、先駆性、高品質性など「知恵」を活用した京都ならではの商品・製品を消費・流通の中心地である東京においてPRする「京都知恵産業フェア」を、市・府・商工会議所・工業会のオール京都体制で開催し、商談や販路の拡大につなげる。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

12 健康長寿産業創出支援事業 9,500

27年6月に設置した「健康長寿のまち・京都推進本部」の取組を新産業創出の観点から進めるものとして、ライフサイエンス関連産業の育成を図るため、コーディネーターの配置や補助金の拡充などにより、販路開拓や製品改良など事業化段階での取組を支援する。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

13 グリーンイノベーション創出総合支援事業の充実 11,300

「京都産業エコ・エネルギー推進機構」による支援を通じてグリーン（環境・エネルギー）関連産業の育成を図るため、コーディネーターの配置や補助金の創設により、販路開拓や製品改良など事業化段階での取組を支援するとともに、事業者のエネルギーコスト削減に資するエネルギーマネジメントシステム導入を総合的に進める「産業EMS推進本部」の設置に向けた体制を整備する。

全体事業費 41百万円（政策枠11百万円、政策枠以外30百万円）

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

14 「京都スマートシティエキスポ」の開催 5,000

京都地域における「スマートシティ」の取組を世界に発信するとともに、京都企業に対するスマートシティビジネスへの参入機会の提供を図るため、京都府や経済界との連携の下、「京都スマートシティエキスポ2016」を開催する。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

15 マンガ・アニメを活用した賑わい創出事業 10,000

京都国際マンガミュージアム開設10周年記念事業を開催するほか、28年1月開館のロームシアター京都を活用した「京都国際マンガ・アニメフェア」の展開など岡崎地域での政策連携を推進することで、国内外からの人の流れを呼び込み、賑わい創出を図る。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

16 企業誘致を推進するための新たな産業用地の創出に向けた調査 12,000

久我・羽束師の工業専用地域をはじめ、市街地内のまとまった土地や未活用の工業用地等の活用・開発などによる新たな産業用地の創出に向けた調査を行い、市内企業の市外流出を防止するとともに、国内外から企業を誘致し、新たな産業集積の促進を図る。

[産業観光局 産業政策課 TEL 222-3325]

17 京都中小企業担い手確保・定着支援事業 85,000

市内の中小企業と若者・学生とのマッチングを支援することにより、中小企業の成長を支える担い手の確保を図るため、中小企業情報WEBサイトの充実など学生に向けた情報発信の強化や、企業社屋でのセミナー、企業の魅力を体感できる職場体験の取組などを支援するほか、若者同士の交流会の実施など定着支援の取組も併せて行う。

また、京都ならではの働き方改革に向け、京都労働局とも連携したセミナー等を開催するほか、非正規率の高い業界団体や学識経験者、行政等で構成する研究会を設置し、安定雇用、雇用の質の向上に向けた調査・検討を行う。

[産業観光局 産業政策課 TEL 222-3325]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

18 京都観光を総合的に担う推進体制（DMO）の構築及び観光案内機能の強化 21,700

観光を取り巻く目まぐるしい変化にしなやかに対応し、世界を見据えた戦略と実行体制の更なる進化を図るため、京都市観光協会を中心に関連団体との緊密な連携の下、マーケティング機能の体制を強化するなど、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる組織（京都市版DMO）の構築を目指す。

併せて、京都市観光協会のノウハウを活かし、河原町三条の朝日会館1階に新たな観光情報・案内コーナーを設置する。

[産業観光局 観光M I C E 推進室 TEL 746-2255]

19 京都市認定通訳ガイド(特区通訳案内士)の活躍支援 12,000

外国人観光客の京都に対する興味やニーズに応えられる通訳ガイドを育成するため、国の特区制度を活用し、京都市域限定で有償により外国人への通訳案内業務を行うことができるようにする制度として27年度に創設した京都市認定通訳ガイドの取組を推進する。

28年度は、専門研修を経て第1期の通訳ガイドを認定するとともに、第2期生の認定に向けた募集・基礎研修を行う。また、認定通訳ガイドが最大限活躍できるよう、人材バンクの構築を行う。

全体事業費 22百万円

(政策枠12百万円, 政策枠以外10百万円)

[産業観光局 観光M I C E 推進室 TEL 746-2255]

20 外国人観光客の買物環境向上事業 18,000

本市を訪れる外国人観光客が大幅に増加していることを受け、マナー問題に対応していくとともに、外国人観光客の旺盛な消費意欲を京都経済の活性化に繋げていくため、外国人観光客の受入対応に積極的な事業者に対して、外国語研修の開催などの支援事業を実施し、買い物環境の整備を推進する。

[産業観光局 観光M I C E 推進室 TEL 746-2255]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

21 グローバルMICE都市としてのMICE戦略推進事業 10,000

グローバルMICE都市として、東京都との連携による共同での情報発信、相互の情報交換等や、大学との連携によるMICE相談窓口設置などの取組を行い、「京都市MICE戦略2020」を推進する。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

22 複数自治体連携による海外富裕層誘客 6,100

京都ブランドの向上・発信のため、これまでの「ILTMカンヌ」の出展に加えて、本市を中心とした複数自治体の連携による「日本ラグジュアリートラベルアライアンス（仮称）」を構築し、共同で世界のラグジュアリー層の観光誘致に取り組んでいく。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

23 「全国商工会議所観光振興大会2016 in 京都」の開催支援 3,000

まちづくりの一環で観光振興の推進を考える「全国商工会議所観光振興大会」が28年7月に日本商工会議所、京都商工会議所の主催のもと本市で開催されるにあたり、府とも協調しながら開催に対する支援を行う。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

24 京都の食を活かした観光による地域活性化事業 3,700

「京都をつなぐ無形文化遺産」にも選定されている「京の食文化」を未来に繋げていくため、食文化・食イベントの情報発信を強化するとともに、地域における特色ある地場産品（農産物、土産物、料理等）を活用したツアーのプラン化に取り組み、京都観光の魅力の増進と地域の活性化を図る。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

[産業観光局 農業振興整備課 TEL 222-3352]

25 「京の花」産業振興戦略の推進～京の花文化の継承～ 8,000

花関連業界に携わる者自らがこれまでの生産・流通・販売手法等を見直し、新たな需要拡大・情報発信の取組を展開していくため、業界の現状調査・分析を行うとともに、今後の花関連業界のネットワークづくりと新たな取組に向けたモデル事業の実施・検証を行う。

[産業観光局 農業振興整備課 TEL 222-3352]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

26 「京都 京北未来かがやきビジョン」(農林業等の活性化)の推進 23,500

「京都 京北未来かがやきビジョン」に基づき、水田の有効活用やパイプハウス整備により京野菜等の生産を推進し、農業従事者や新たな担い手の転入を図るとともに、「京北森林公園」といった地域資源を活かした新事業を展開し、農林業及び地域の活性化を図る。

- ◆京北水田フル活用プロジェクト生産基盤の整備 1,000
地下水位をコントロールするパイプライン導入を支援(事業期間:28~32年度)
- ◆京北京野菜生産応援事業 12,000
高品質の野菜を周年栽培できるパイプハウス導入を支援(2箇年で25棟を整備)
- ◆京都“悠久の灯(あかり)”プロジェクトの推進 2,500
民間事業者と連携し、調達困難となっている和ろうそくの原材料であるブドウハゼを、京北地域で栽培することで、原材料の安定供給と地産地消を図る。
- ◆「京北森林公園」利用促進事業 8,000
グリーンツーリズムの推進を担う施設として、利用者増につながる施設整備を実施し、魅力の向上を図る。

[産業観光局 農業振興整備課 TEL 222-3352]

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

27 災害に強い森づくりの推進 32,500

「豊かな森を育てる府民税交付金」を活用し、豪雨等の災害に強い森林環境の保全に資する取組を実施する。

- ◆京都市内産木材搬出支援 17,500
伐採放置木等の搬出を促し、災害に強い林内環境を保全するため、木材搬出の経費削減・担い手育成に繋がる取組を支援するとともに、搬出経費への支援を行う。
- ◆京都市林業用道路保全活動支援 15,000
市管理以外の林道について、森林組合等と林道保全に関する協定を締結し、国補助対象とならない簡易な補修等の維持管理活動に対する本市独自の支援を行う。

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

28 京都らしい森づくりの推進 34,000

「豊かな森を育てる府民税交付金」を活用し、景観上・安全上の問題となる放置荒廃林等の対策や美しい森の保全に資する取組を実施する。

◆京都三山の森再生 14,000

手入れが行き届かず荒廃した森林を健全に育成するため、モデル地区において、現況調査や目指すべき森林像の検討を行ったうえで適地適木（その土地の自然条件に合った樹種を選定すること）による森林再生に取り組む。

◆古都の美林を守る森林支援事業 13,000

国補助の対象とならない小規模な間伐や北山杉特有の枝打ち施業に対して、本市独自の支援を実施し、地域や木材の特性に応じた京都らしい森づくりを推進する。

◆京都竹の里再生モデル事業 7,000

竹林所有者とボランティア等が連携し、市民主体で荒廃竹林の再生・景観保全に取り組む仕組みを検討する。28年度は、モデル地区において、伐採竹林の活用方法検討にむけた伐採を実施する。

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

[産業観光局 農政企画課 TEL 222-3351]

29 木のあるまちづくりの推進 28,500

「豊かな森を育てる府民税交付金」を活用し、市内産木材の活用促進に資する取組を実施する。

◆京都市内産木材を活用した名所説明立札（駒札）設置事業 18,500

史跡・寺社等の由緒や見所等を説明する「駒札」について、「みやこ杣木」を活用して設置することで、地域観光資源の創出と魅力の発信を図るとともに、市内産木材の活用を促進する。

設置数：50基（5年間で250基の設置を想定）

◆京都市内産木材の情報発信強化 10,000

市民や事業者に対して、市内産木材の活用促進に関する本市の取組を積極的に発信するなど普及啓発を推進し、市内産木材の需要拡大を図る。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

(① 京都の知恵や強みを最大限に活かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出)

[単位：千円]

30 「森の京都博」の開催 4,000

京都府及び府内市町村が共同で、林業の振興、自然環境の保全、森の文化の魅力のアピールを目的とした「森の京都博」を開催する。

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(産業観光局)】

[新規事業]

◇京都経済センター（仮称）の整備	523,000
◇中小企業知的財産活用強化プログラム	900
◇京都市産業技術研究所創設100周年記念事業	3,000